Ver.2106

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学･医学系研究に関する倫理指針＞に基づき，研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば，他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で，研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて，研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので，下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも，研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞

膀胱尿管逆流症に対する内視鏡的注入療法の治療成績評価について電子カルテデータを用いた探索的研究

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部　医学部外科学系小児外科分野（附属板橋病院　小児外科（研究責任者）小野賀功

＜研究期間＞

承認日　～　令和　（西暦　2025）年　12 月　31 日

＜研究の目的と意義＞

膀胱尿管逆流症は，小児の尿路感染症の原因として 30-40%に認められる疾患です。膀胱尿管逆流症に対する治療法の１つとして内視鏡的注入療法が 2010 年より保険適用となり普及してきました。近年では内視鏡的注入療法の合併症の報告例も認めています。当科では 2014 年より膀胱尿管逆流症に対して内視鏡的注入療法を施行してきました。その治療効果と安全性を検証するために本研究を計画いたしました。

＜利用する試料・情報の項目＞

検査データ，画像検査データ，診療記録

診療記録より，下記に示す項目に関する情報を収集いたします。

＜対象となる方＞

西暦 2014 年 1 月 1 日～西暦 2020 年 12 月 31 日の期間に小児外科で膀胱尿管逆流症に対する内視鏡的注入療法を受けた方

＜研究の方法＞

診療記録をもとに，評価項目に関する情報を収集します。

評価項目：年齢，性別，治療前後の膀胱尿管逆流の程度（画像検査所見），注入方法，注入量，治療後の超音波検査所見の情報から，膀胱尿管逆流の程度別に，治療による膀胱尿管逆流消失割合，術後水腎症の発生頻度，治療後の発熱性尿路感染症の発生頻度を注入方法および注入量によって評価します。そのデータをもとに，当科における手術の効果と安全性を確認して適切な治療法を探索します。

＜外部への試料・情報の提供の方法＞

外部への情報の提供はございません。

＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

外科学系小児外科分野　　氏名：小野賀功

電話：03-3972-8111　　内線：(PHS) 8164